

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1272	(H.28)No.	1272
-----------	------	-----------	------

事務事業名	道徳教育総合支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森早苗	

会計区分	事業コード	468601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	道徳教育総合支援事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	道徳教育総合支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
新学習指導要領の実施に向けて指導と評価の一体化をめざし、「特別の教科 道徳」の時間の指導の要点や具体的な授業づくりについて研修し、市内すべての学校を対象に、各校の道徳の時間及び全ての教科領域での道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成を図ります。
事業内容
平成30年度小学校、平成31年度中学校における道徳教育の教科化にともない、市内全ての小中学校において、道徳教育がより充実したものとなるよう、外部講師を招聘しての研修会を実施します。また、研修会での学びを各学校での実践に生かし、児童生徒の豊かな心の生育を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	—	- 道徳推進教師対象研修会(1回) 「特別の教科 道徳」の実施に向けての講演会(2回) - 教育課程検討委員会による通知表の改訂 - 各学校研修図書、消耗品購入(19校)(計280千円)	- 道徳推進教師対象研修会 - 講師による、「特別の教科 道徳」の実施に向けての講演会	- 講師による、「特別の教科 道徳」講演会 「特別の教科 道徳」における指導と評価の成果と課題の検証	「特別の教科 道徳」における指導と評価の成果と課題の検証

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		0千円		280千円	140千円	140千円	140千円
内訳(千円)				280			
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	140	140	140
職員				0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
臨時職員等				0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	1,759千円	1,759千円	1,759千円	1,759千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	2,039千円	1,899千円	1,899千円	1,899千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
いじめ問題をはじめとする児童生徒の社会的な問題に、道徳性の重要性があげられるようになり、これまでの道徳の時間が「特別の教科 道徳」として教科化されることになりました。より質の高い授業内容が求められ、「考え、議論する」道徳へと転換を図るとともに、学校、保護者、地域が一体となり道徳教育を進めていく必要があることから、平成29年度は県の事業委託を受けて、教科化に向けた研修等を進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
道徳教育の教科化にともない、指導と評価の一体化について、外部講師を招聘して、指導・助言を受けることで、子どもたちの公共心や規範意識、他人を思いやる心、よりよく生きようとする意欲と実践力等を育むための授業実践を学び、子どもを正しく評価していく評価基準を作成し、よりよい授業づくりを行っていきます。	第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっ子すくすく計画(第3次)